

# 静岡市立清水袖師小学校

静岡県埋蔵文化財センター

令和6年5月16日(木)

## 出前授業レポート



「体験活動や説明が充実していて児童が喜んでいました。」

静岡市立清水袖師小学校の6年生61人が、社会科の歴史の授業「縄文～弥生の人々の暮らし」で、大昔の人々の生活について、体験を通して詳しく知ることを目的に、土器の分類・石器の試し切り・火起こしの3つの体験を行いました。

### 土器の分類体験



土器の分類と石器の試し切りの2つの体験を40分間で行ったため、大変忙しい体験になりました。子どもたちは、縄文時代や弥生時代、古墳時代に使われた本物の土器片にさわってみて、厚さや質感などの土器の違いを感じ取っていました。

「本物の土器にさわ  
れてうれしかった。」

「本物の縄文土器や  
弥生土器、須恵器に  
さわられてよかった。」



### 石器の試し切り体験



鉄などの金属が日本に伝わる前の時代の話を聞いたあと、石で物が切れるなんて思っていない子どもたちは、黒曜石を手に取り、新聞紙や野菜を切り始めると、よく切れることに驚き、旧石器時代や縄文時代の人々の暮らしを想像していました。

「野菜が本当に切  
れておどろいた。」

「本当に切れるとは  
思わなかった。」



### 火起こし体験



火起こしの歴史を簡単に説明した後、舞きり法の手順を伝えると、興味深く聞いていた子どもたちは理解し、体験に移りました。初めは、弾み車を調子よく回し始めますが、だんだん重くなってくると厳しい表情になりながらもがんばっていました。班員と協力してたくさん子どもたちが火を起こすことができ、とても喜んでいました。

「大変だったけど、  
楽しかった。もっと  
やりたい！」

「昔の人は火をつけるの  
が大変だったことが分  
かった。毎日やってい  
なんて信じられない。」



### 先生方の感想

「体験活動や説明が充実していて児童が喜んでいました。用具や材料の準備がよく、体験がやりやすかったです。センターの職員さんには、児童の実態に合わせて上手に対応していただきました。良い体験をさせていただきありがとうございました。」

